

ISSN 1349-2721

人間看護学研究

Journal of Human Nursing Studies

3

2006
March



滋賀県立大学人間看護学部

人間看護学研究

編集委員長 石田 英實
編集委員 藤井真理子
山田 明
伊丹 君和
滝澤 寛子
流郷 千幸

Journal of Human Nursing Studies

Editor-in-Chief Hidemi Ishida
Editors Mariko Fujii
Akira Yamada
Kimiwa Itami
Hiroko Takizawa
Chiyuki Ryugo

人間看護学研究 第3号

発行日 2006年3月31日

発行 滋賀県立大学人間看護学部

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

電話 0749-28-8631

ファックス 0749-28-9501

印刷所 (有) ひがし印刷

ISSN 1349-2721

School of Human Nursing

The University of Shiga Prefecture

2500 Hassaka, Hikone, Shiga, 522-8533 Japan

tel 0749-28-8631, fax 0749-28-9510

Printed by HIGASHI PRINT

人間看護学研究投稿規定

1. 趣旨

この規定は、人間看護学研究の発行に必要な事項を定める。

2. 発行

原則として毎年度1回発行する。

3. 投稿者の資格

原則として、滋賀県立大学人間看護学部の教員等が、第一著者あるいは共著者であること。ただし、人間看護学研究編集委員会（以下「編集委員会」という）から依頼された原稿に関してはこの限りではない。また、滋賀県下の関係者については、編集委員会の判断により投稿を認める場合がある。

4. 原稿の種類

(1) 原稿の種類は、下記の通りとする。

原著論文：独創的で、新しい知見や理論が論理的に示されており、論文としての形式が整っているもの。

総説：ある主題に関連した研究・調査論文の総括および解説

研究ノート：内容的に原著論文の域に達していないが、研究結果の意義が大きく、発表の価値があるもの。

活動と資料：看護活動に関する実践報告、調査報告、有用な資料など。

フォーラム：人間看護に関わる海外事情、関連学術集会の報告、および掲載論文に対する意見など。

書評と紹介：内外の人間看護学研究に関係する図書、論文および研究動向について批評、紹介をおこなうもの。

学部広報：人間看護学部の動向や記録事項など。

(2) 原稿の種別は著者が行うが、編集委員会が種別変更を求める場合がある。

5. 原稿の制限事項

(1) 投稿原稿は、国内外を問わず未発表のものに限り、重複投稿は禁止する。

(2) 原稿は刷り上がり（原稿1頁は2400字）で、写真・図表を含めて下記の制限枚数内とする。

原著・総説・研究ノート：12頁以内

活動と資料：6頁以内

他の原稿は2頁以内とするが、学部広報は制限を設けない。

6. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的な配慮がさ

れており、原稿中にもその旨が明記されていること。

7. 投稿手続

(1) 原稿を3部（うち2部は複写でも可）を編集委員会に提出する。

(2) 最終修正原稿を提出するときには、本文を保存（ワード・一太郎形式）したフロッピーディスク（CD-Rでも可）を添付する。

(3) 提出場所

持ち込みの場合：編集委員会

郵送の場合：封筒の表に「人間看護学研究原稿」と朱書きし、下記に書留郵送する。

〒522-8533 彦根市八坂町2500

滋賀県立大学人間看護学部

人間看護学研究編集委員会

8. 原稿の受付

上記7の投稿手続を経た原稿が、編集委員会に到着した日を受付日とする。

9. 原稿の採否

(1) 原稿の採否は査読を経て編集委員会が決定する。

(2) 査読結果により原稿の修正を求められることがあるが、修正を求められた原稿著者は、編集委員会の指定した期日までに内容修正を行い再投稿すること。指定された期日以降に再投稿された場合は、原則として新規受付の取り扱いをする。

10. 著者校正

査読を経て、編集委員会に受理された最終原稿については、著者校正を1回行う。但し、校正時の加筆は原則として認めない。

11. 執筆要領

原稿の執筆要領は別に定める。

12. 著作権

原稿内容についての第一義的責任と権利は著者に帰属するが、原稿の編集・出版および電子情報化など2次的使用に関する権利は、編集委員会が著者から委託されたものとする。

なお、著者が電子情報化を希望しない場合は、投稿時に編集委員会に文書で申し出ることとする。

13. 掲載料・別刷

掲載料は無料とする。但し、特殊な図表等で特別な経費を要した場合には著者負担とする場合がある。別刷は希望者のみとし、費用は著者負担とする。

原稿執筆要領

1. 原稿構成

- (1) 投稿原稿の構成は原則として以下の通りとする。
抄録：研究の「背景」「目的」「方法」「結果」「結論」にわけて、見出しをつけて記載すること。
(1,000字以内)
キーワード：6個以内
Ⅰ. 緒言：研究の背景・目的
Ⅱ. 研究方法：研究、調査、実験、解析に関する手法の記述および資料・材料の集め方
Ⅲ. 研究結果：研究等の結果・成績
Ⅳ. 考察：結果の考察・評価
Ⅴ. 結語：結論
文献：文献の記載は、2.(9)に従う。
- (2) 表紙上段には、表題（英文併記）、著者氏名（ローマ字氏名併記）、所属機関名（英文併記）、キーワード（英単語併記）、希望する原稿種別を記載する。
- (3) 表紙下段には、本文・図表・写真の枚数、および連絡先（氏名・所属機関名・住所・電話およびファックス番号・E-mailのアドレス）を記載する。
- (4) 原著論文には、英語抄録をつけること。その他の原稿の場合は、英文抄録を省略することができる。
- (5) 英文抄録（Abstract）は、Background・Objective・Method・Results・Conclusions・Key Wordsの構成とし、500語程度とするが、1ページを英文抄録にあてるため、その範囲を超えなければ500語以上を認める。
- (6) 英文原稿の場合は、英文抄録と同様の要領で和文抄録をつけること。

2. 執筆要領

- (1) 原稿は原則として、コンピューターソフトまたはワードプロセッサで作成する。
- (2) 原稿はA4版横書きで、1頁1200字（25字×48行）になるように作成する。
- (3) 原稿は、原則として、新仮名づかい、当用漢字を使用する。
- (4) 外国語はカタカナで、外国人や日本語訳が定着していない学術用語などは活字体の原綴で記載する。
- (5) 数字は算用数字を用い、単位符号は原則としてSI単位（kg、mg、mm、ml、kcal、℃など）を用いる。
- (6) 国際的な共通語を使用し、一般的に認められている略語以外は説明なしでは使用しないようにする。特定分野でのみ用いられる略号、符号などに関し

ては、初出時に簡単な説明を加える。

- (7) 図・表および写真は、それぞれ図1、表1などの通し番号をつけ、本文とは別にまとめ、本文原稿右欄外にそれぞれの挿入希望位置を朱書きする。
- (8) 文献は、本文の引用箇所の肩に¹⁾ ²⁾ のように半角上付き番号で示し、本文の最後に引用した番号順に整理して記載する。雑誌略名は邦文誌では医学中央雑誌、欧文誌ではINDEX MEDICUS、INTERNATIONAL NURSING INDEXに従うものとする。
- (9) 文献の記載方法
雑誌の場合：著者名、論文名、雑誌名、巻・号、頁、発行所、発行年の順に記載する。
単行書の場合：著者名、書名、版、引用頁、発行所、発行年の順に記載する。
単行書（分担執筆）の場合：著者名、分担章標題名、編集名、書名、版、頁、発行所、発行年の順に記載する。
訳書の場合：原著者、書名、発行所、発行地、発行年、訳者名、書名、頁、発行所、発行年の順に記載する。

論 文

分娩時および産褥入院中の看護時間調査
岩谷澄香、高橋里亥、白井やよい、志田映子、玉里八重子、
宮田久枝、勝又浜子、篠塚ひとみ 1

下肢の支持性が低下した人に対する移乗動作の身体的・心理的負担
の評価
伊丹君和、安田寿彦、豊田久美子、石田英實、久留島美紀子、
藤田きみゑ、田中勝之、森脇克巳 11

中・高年女性の尿失禁に関する認識の実態
寺田美和子、竹村節子 23

「成人患者の利益・権利を守るアドボカシー」に関する看護師の意識
竹村節子 31

足浴が排尿に与える影響に関する基礎的検証
豊田久美子 51

文章完成法によるspirituality評定尺度の開発
比嘉勇人 63

退職移行期にある看護者の健康と社会活動に関する実証研究
—退職看護者の人材活用システムの課題—
西田厚子、堀井とよみ、筒井裕子、藤井淑子、太田久佐子、
柴崎さと子、西島治子、平 英美 71

滋賀県における在宅ホスピスケアの実態
—開業医のアンケート調査から— (英文)
竹村節子 85

研究ノート

看護におけるinvolvement概念の構成要素に関する文献研究
牧野耕次、比嘉勇人、甘佐京子、松本行弘 103

退職看護者再雇用システムの有効性の検討
堀井とよみ、西田厚子、西島治子 111

地区診断と健康教育指導案作成を組み合わせた
教育プログラムによる学生の学び
滝澤寛子、西田厚子、今村 香 125

急性期成人看護学演習における学生の協同学習および
説明活動による学習効果
—授業体験レポートの質的分析による考察—
米田照美、沖野良枝、前川直美 135

S県下における幼児の採血場面のプリパレーションと関連要因
流郷千幸、古株ひろみ、東 美香、大西孝子 145

活動と資料

オーストラリア アデレードの緩和ケアの実際と
緩和ケアチームの活動
前田美和子、豊田久美子 153

Articles

Research on Hours for Interventions at the Time of Delivery and
Post-Natal Care in Hospital
Sumika Iwatani, Satoi Takahashi, Yayoi Shirai, Eiko Shida, Yaeko
Tamari, Hisae Miyata, Hamako Katsumata,
Hitomi Shinozuka 1

Evaluation of Human Physical and Mental Burdens Regarding
Standing Transfer in Individuals with Reduced Lower Limb
Strength
Kimiwa Itami, Toshihiko Yasuda, Kumiko Toyoda, Hidemi Ishida,
Mikiko Kurushima, Kimie Fujita, Katsuyuki Tanaka, Katsumi
Moriwaki 11

Middle-aged and Elderly Women's Perception Regarding Urinary
Incontinence
Miwako Terada, Setsuko Takemura 23

Awareness among Nurses concerning Advocacy to Protect
interests and Rights of Adult Patient
Setsuko Takemura 31

The Study on the Effects of Foot Bathing on Urination
Kumiko Toyoda 51

Development of Spirituality Rating Scale Using Sentence
Completion Method
Hayato Higa 63

Evidential Study about the Relation between the Health and the
Social Activities of People considering Retirement Transition
Stage —Issues Surrounding Human Resources for Retiring
Nurses—
Atsuko Nishida, Toyomi Horii, Sachiko Tsutsui, Yoshiko Fujii, Hisako
Oota, Satoko Shibazaki, Haruko Nishijima, Hidemi Taira 71

The Research on the Condition of Hospice Home Care in Shiga
Prefecture
—From a questionnaire to general practitioners—
Setsuko Takemura 85

Notes

Literature Review of Components of the Concept of
Involvement in Nursing
Koji Makino, Hayato Higa, Kyoko Amasa, Yukihiko Matsumoto
..... 103

Examination about the Effectiveness of a Retirement Nurse Re-
Employment System
Toyomi Horii, Atsuko Nishida, Haruko Nishijima 111

What Students Have Learned through Making Health Education
Program Including Community Diagnosis?
Hiroko Takizawa, Atsuko Nishida, Kaori Imamura 125

Learning Effect of Cooperative Learning and Self-Explanation
on the Student Nurses in Acute Care Exercise of Adult Nursing
—Qualitative Analysis about Experiential Reports of the Student
Nurses—
Terumi Yoneda, Yoshie Okino, Naomi Maekawa 135

Research on Preparation in Preschool Children's Collecting Blood
Scene
Chiyuki Ryugo, Hiromi Kokabu, Mika Azuma, Takako Ohnishi 145

Reports & Materials

Palliative Care and the Activities of Palliative Care Team in
Adelaide, Australia
Miwako Maeda, Kumiko Toyoda 153